

【町長】

通告順	1	質問 議員	伊藤議員
質問 項目	携帯電話不感地帯の環境改善を		
質問 内容	<p>本町においては携帯電話の通信が不通となっている地域があります。情報のデジタル化通信は現在の生活や仕事に欠かせないものであり、住宅がない場所であっても農地や山林、河川、ダムの管理などで人が介在する場面は多岐にのびます。</p> <p>携帯電話やWi-Fiなどの無線通信は不測の事態や事故での連絡手段として、また、ICT技術を活用した農業機械など重要なアイテムとなっています。</p> <p>本町においても本年度の事業から法人や協業での機械購入費支援や中山間事業で携帯電話不感地帯対策を行っていますが、町内全域に精度の高い通信があつてこそ、町の事業が活かされると考えます。</p> <p>緊急を要する事態や交通事故、農作業事故に対応するためにも必要不可欠な設備だと考えますので以下を質問致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通信が出来ない地帯での安全対策や農業機械などで利用する位置情報を高度化するためのインターネット環境の整備をどのように考えているのか。</li> <li>2. 携帯電話不感地帯対策で実証試験を行った結果、次年度以降の対応をどのように考えているのか。</li> <li>3. 総務省が行う高度無線環境整備推進事業を活用した電波塔の設置や無線通信を繋ぐ事業に取り組むことは出来ないのか。</li> </ol>		

# 高度無線環境整備推進事業

- 5G・IoT等の高度無線環境の実現に向けて、条件不利地域において、地方公共団体、電気通信事業者等が高速・大容量無線通信の前提となる光ファイバ等を整備する場合に、その費用の一部を補助する。
- また、離島地域において地方公共団体が光ファイバ等を維持管理する経費に関して、その一部を補助する。

- ア 事業主体:** 直接補助事業者:自治体、第3セクター、一般社団法人等、間接補助事業者:民間事業者
- イ 対象地域:** 地理的に条件不利な地域(過疎地、辺地、離島、半島、山村、特定農山村、豪雪地帯)
- ウ 補助対象:** 伝送路設備、局舎(局舎内設備を含む。)等
- エ 負担割合:**

令和6年度当初予算額:45.0億円

令和5年度当初予算額:42.0億円  
令和5年度補正予算額:20.1億円

(自治体の場合)

【離島】\*

国 4/5	自治体 1/5
----------	------------

\* 光ファイバ等の維持管理補助は、収支赤字の1/2(令和7年度まで)

【その他の条件不利地域】

国(※1) 1/2	自治体 1/2
--------------	------------

(※1) 財政力指数0.5以上の自治体は国庫補助率1/3

(第3セクター・民間事業者の場合)

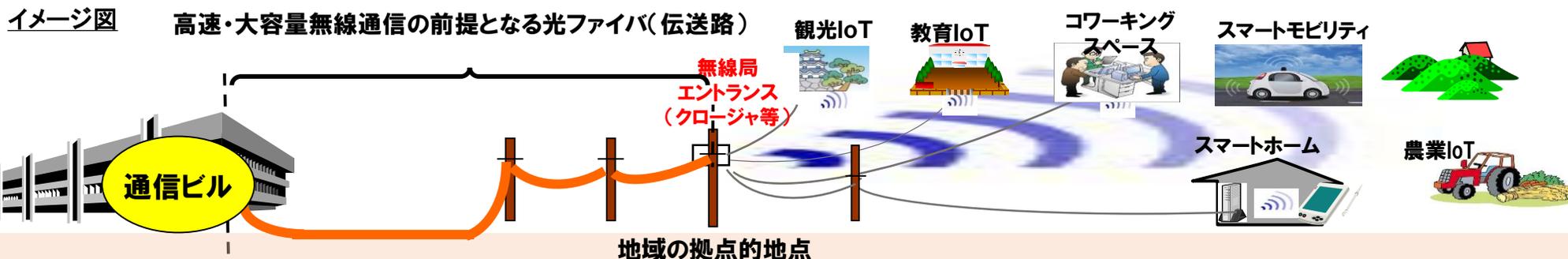
【離島】

国(※2)(※3) 4/5	3セク・民間 1/5
------------------	---------------

(※2) 海底ケーブルの敷設を伴わない新規整備の場合、2/3  
(※3) 高度化を伴う更新を行う場合、1/2

【その他の条件不利地域】

国 1/3	3セク・民間 2/3
----------	---------------



\* 新規整備に加え、令和2年度からは、電気通信事業者が公設設備の譲渡を受け、(5G対応等の)高度化を伴う更新を行う場合も補助。令和5年度補正予算においては、地方公共団体が民間移行を見据えて公設の光ファイバ等の高度化を行う場合も補助。(いずれの場合も高度化しない更新は対象外)

\* 地方公共団体が事業主体となる事業において、予算額を上回る事業要望があった際は、当該団体におけるマイナンバーカード交付率を考慮の上、事業採択を行う場合があります。

【町長】

<p>通告順</p>	<p>2</p>	<p>質問 議員</p>	<p>鵜野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>行政区、町内会運営の負担軽減策を</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>沼田町は過疎化と高齢化率が進み、その事による各行政区の運営に御苦労している状況が伺えます。</p> <p>なかでも町内会費の負担と、お知らせ版、回覧板の配布作業の負担を軽減できないかなど、いくつかの町内会から最近、耳にする様になっています。</p> <p>町内会費のほとんどが各団体、組織への負担金となっており、その固定経費の軽減が必要と考えられます。また、お知らせ版などの配布作業についても高齢化が進む中では配布作業の軽減が必要と考えます。</p> <p>町内会費の負担金の中には町より街灯料金の負担金があり、年間100万円ほどが各行政区に割り当てられ、電気料金の上昇と人口減少により、世帯当たりの負担が増加傾向にあります。またこの街灯料は平成18年度より各町内会等電気料実績の30%を負担、平成20年度より40%負担として現在まで継続しています。</p> <p>当時より人口が減り、高齢化が進み負担者の社会的構成が変わってきています。</p> <p>今後はこの電気料をさらに負担金の割合を少なくする事、もしくは無くす事ができないか。さらに他の負担金でも低減する事がないか聞きたい。</p> <p>お知らせ版などの配布作業についても、いろいろと検討していますが、出来るだけ早く負担の軽減を進めてもらいたい。今後、どの様な改善策を考えているのか聞きたい。</p>		

【町長】

通告順	3	質問 議員	上野議員
質問 項目	ふるさと納税について		
質問 内容	<p>行政報告ではふるさと納税額が11月末現在、過去最高の10億3千496万円になったとの事であります。</p> <p>この結果になった事に関して関係者の努力に敬意を表したいと思えます。</p> <p>この傾向が本年度だけで終わらせる事なく、来年度以降も堅持する事も重要であります。</p> <p>そこで、下記について質問させていただきます。</p> <p>(1) 10億3千496万円になった納税額の詳細な分析はどのようになっているのか。 (件数・返礼品種別・7つの寄附項目の数字)</p> <p>(2) 集まった寄附金を寄附してくれた人の気持ちを込めてどのような使い方を考えているのか。</p> <p>(3) 更なる寄附金額の増大に向けて、来年度以降どの様な戦略を考えているか</p> <p>以上、町長に質問致します。</p>		

【町長】

<p>通告順</p>	<p>4</p>	<p>質問 議員</p>	<p>長野議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>留萌本線ラストランから駅舎の未来へ</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>留萌本線廃線が一年後に迫っている。町は「次世代公共交通とまちづくりワークショップみらいとーく」などで町民の声を聴き、町民有志は「沼田町駅未来協議会」による駅周辺の活性化や廃線後の駅活用法や飲食イベント沼ルシェの魅力化で賑わいを創出されてきたことは敬意を表したい。これからの正念場である。</p> <p>時を同じくして、深川東高校総合ビジネス科では、「R4年度 石狩沼田駅を鉄オタの聖地に」、「R5年度 アドベンチャートラベルで沼田町を活性化」、「R6年度 留萌本線ラストラン計画」を計画し、本町の可能性と魅力に着目、発信してくれている。</p> <p>廃線は、異業種・異世代と大学生・高校生の次世代が未来を語り新たな街を創造する一大チャンスである。多様な立場のアイデアをわが町が包括的に受け止め、廃線後の沼田町の未来図を描くことを期待し、以下の質問を行う。</p> <p>1、 留萌本線ラストランの一年をどう仕掛けるのか          (1) 廃線までわずか1年余り。町が主導し、町民の声、有志の声、高校生の声を活かし、束ねる協議の場が必要と考えるがどうか。</p> <p>2、 廃線後の駅舎・鉄路を残すのか否か決まっていない。どのように考えるのか。          (1) 沼田喜三郎翁の導き、札沼線の思い出など歴史的財産を受け継ぐ駅舎、そこに沿線住民の生活があった事を記録するストーリーを残す価値があると考えがどうか。          (2) 駅ホーム内に JR 車両を置きクラフトビアホールや売店設置、沼田喜三郎翁銅像建立など観光スポットとして、新たな駅舎スタイルの可能性を活かすことができる沼田にしかできない財産と考えるがどうか。</p> <p>3、 以上をスピード感を持って取りまとめ、JR 北海道へ協力要請をしてはどうか。</p>		

## 資料 1

# 留萌本線ラストラン計画

【R6 年度 深川東高校総合ビジネス科課題研究資料】

- 1, 令和 7 年 4 月から 1 年間、廃止予定である留萌本線に月 2 回土曜日、年間 24 回特別列車を走らせた
- 2, 特別列車は、学生や地域住民に協力依頼し、実際に自分たちでデザインしてもらうことで、人々の思い出になり特別感を醸成したい。
- 3, 二車両編成を考え、一車両で車内販売を行い、一般で売られている商品のほか、地域の特産物や深川東高校で作った商品（リンゴラムネ・深東チップス）の販売を行う。一車両を乗車スペースとしたい。
- 4, その他、アナウンス体験、沿線 5 駅のスタンプラリー、1 日切符や往復切符割引など最後まで乗ってもらい最終年を飾りたい。